

教育目標 「豊かな心で学び合い鍛え合う子どもを育てる」～もっとやさしく・もっとかしこく・もっとねばり強く～



西小だより

令和7年4月25日 No.3

中津川市立西小学校

西小ホームページリンク



自分の命を守りきるために

校長 加藤 高祥

4月16日（水）に大規模地震が発生したという想定で今年度最初の「命を守る訓練」を行いました。折しも9年前のこの日は、熊本を震源とする地震により278名の方の尊い命が奪われるなど大きな被害が出ました。また、最近では長野県北部地震、世界に目を向けると、ミャンマーの大地震など、各地で大きな地震が発生し甚大な被害が報告されています。

私たちは、この自然の驚異と常に背中合わせで日々の生活を送っているわけですが、大事なことはどれだけ「心の準備」ができているか…そんな視点も含め、子どもたちに話をしました。教室にいる時かもしれない、グラウンドで体育の授業を行っている時かもしれない、下校中に大地震が起きるかもしれない…。いつ、どんな場所でどのくらいの規模の地震が起こるのか分からない…。私たちはいつ起こってもおかしくない状況に対して、常に「心の準備」をしておくことが自分の命を守ることに繋がります。

しかし、「心の準備」をしていても想定外のことが起こるのが自然災害の怖いところです。訓練をしていたことが通用しない状況になったときに、私たちは自分の命を守るためにどのような行動をとればよいのか「考える」ことが大切です。

一昨年度の元旦に発生した能登半島地震は記憶に新しいところです。家族団らんで過ごしていたところ、大きな揺れが人々を襲いました。多くの家屋が倒壊し、寒い中、多くの方が避難所に避難しました。また、学校の再開も難しい中、能登地方の多くの中学生が石川県内の宿泊施設で集団での生活を余儀なくされました。

当時、私は行政機関にいたことから、国の人的派遣の要請で1週間中学生の集団生活のサポートに行ってきました。宿泊施設での中学生は、学校の仲間と普段通り過ごしていましたが、話をする中で「早く家に帰りたい…」「当たり前で過ごしていたことが、当たり前じゃなくなりました。これからどうなるんだろう…。」と自分の心の内を吐露することもありました。突然襲ってきた現実はどう向き合い、これから自分たちはどうなっていくのか、ただただ不安な気持ちでいっぱいだったと思いますが、今起こった現実を受け止め、目はしっかりと前を向いていました。

自然災害に対して、少しでも「心の準備」をしておくことはとても大切なことです。その「心の準備」とは、言われたことや指示されたことを行っていくことだけではなく、「自ら考え行動する力」になります。普段から想定外のことが起こった時にどう対応していくのか「考える力」もその一つです。それが自分の命を守ることに繋がります。

子どもたちには、普段から「考える力」を育てていきたいと考えています。



授業参観・PTA総会・懇談会

明日の授業参観・PTA総会・懇談会よろしくお願いします。

9:40～10:25 授業参観

（児童集団下校 10:25～10:45）

10:45～11:10 PTA 総会

11:15～11:45 懇談会

※駐車場に限りがありますので、徒歩・乗合せにご協力をお願いします。

※駐車場は **9:10～開放**します。お気をつけてお越しください。

